

第4節 ジョイント・フォーラム

I 概要

ジョイント・フォーラムは、バーゼル銀行監督委員会、IOSCO及びIAISを母体として設立され、金融コングロマリットの監督上の諸問題、銀行・証券・保険の各分野に共通する監督上の諸問題を検討する合同会合である。同フォーラムは、1996年1月に金融コングロマリットに対する監督上の諸問題を検討するため「金融コングロマリット合同会合」(Joint Forum on Financial Conglomerates)として発足し、1999年5月に現在の名称に変更された。同年12月には、三母体委員会に共通する監督上の諸問題を含め、幅広いテーマについて検討することを新たにマニフェストに加えた。メンバーは、各分野を代表する主要な監督者で構成され、我が国を含む13ヶ国の関係監督当局の代表が参加している。金融コングロマリットの国際的な業務展開や金融各分野の業態区分の不鮮明化により、各国監督当局の業態横断的な情報交換や連携強化の必要性が一層高まってきていることから、我が国はその発足時からこの会合に積極的に参画している。

II 活動状況

- (1) ジョイント・フォーラムは、年3回のペースで開催されており、2001年7月には、山形県天童市において日本で初めて会合を行った。
- (2) ジョイント・フォーラムの下には、複数のワーキング・グループが設置されており、2001年11月に2つの報告書を公表した。
 - ① コア・プリンシプル(監督上の基本原則)の比較
バーゼル銀行監督委員会、IOSCO、IAISでそれぞれ策定された監督基本原則を比較したものであり、各業態の監督上の共通点、相違点の分析がなされている。
 - ② リスク評価・管理、自己資本規制の比較
銀行・証券・保険の各業態におけるリスク評価・管理のあり方、及び自己資本規制を比較し、それぞれの共通点、相違点の分析がなされている。
加えて、2002年3月に『コーポレート・ガバナンス及び監督目的の監査・アクチュアリー機能の活用』についての報告書を取りまとめたところである。
- (3) 現在は、金融コングロマリットのリスク統合管理やオペレーショナルリスク管理、ディスクロージャー等をテーマに監督上の諸問題をワーキンググループで検討している。